

WILCOMM

アップグレード手順書

UPG001 (Last Update : 2005/8/16)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



WilComm アップグレード手順書

目次

	ページ
1. WilComm AS/400 アップグレード作業	3
2. WilComm PC アップグレード作業	5
- シリアルコード・エクストラクターのインストール	5
- 現行 WilComm 環境のバックアップ	9
- 現行 WilComm 環境のアンインストール	10
- MESSAGEmanager のサービス停止	11
- WilComm 新バージョンのインストール	13
- 新バージョンの WilComm を日本語化	24
- 旧バージョンの設定を新バージョンへ移行	25
- ライセンスキーの入力	26
3. トラブルシューティング	28
- A S / 4 0 0 環境の復元	28
- P C サーバー環境の復元	29

WilComm アップグレード手順書

アップグレードを行うにあたっての留意点

ユーザー側で、WilCommのデータベース（WCPOLL、WILPLEXMSG）を参照するプログラムを開発されている場合には、アップグレードを行う前に修正が必要となります。
詳細につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。

WILCOMM PTF 番号 03071001 でAPIのプログラムの仕様変更が行われております。
API機能をご使用のお客様はプログラムの修正が必要となりますので以下の内容をご確認下さい。

WilComm のメニューを表示させてコマンドラインに DSPWILPTF とタイプして実行します。

DSPWILPTF コマンドが存在しない場合、次ページの処理へ進みます。

WILCOMM PTF 番号 に 03071001 以上の番号が表示された場合、次ページの処理へ進みます。

WILCOMM PTF 番号 に 03071001 より小さい番号が表示された場合、以下の作業を行って下さい。

ライブラリーWILPLEXCHG に WCAPI_UPGM というプログラムが存在していないか確認して下さい。

存在しない場合、次ページの処理へ進みます。

もし存在している場合にはプログラム WCAPI_UPGM へ以下の修正が必要です。

&RTN_ARCH というパラメータを末尾に追加します。

```
PGM          PARM(&SF_FILE &SF_SPLNBR &SF_JOB &SF_USER +  
              &SF_NBR &SF_TEXT &#FORMN &#USERD &LIB +  
              &FILE &RTN_CODE &RTN_ARCH)
```

変数の定義を追加します。

```
DCL          VAR(&RTN_ARCH) TYPE(*CHAR) LEN(1)
```

プログラムの先頭で、変数にデフォルト値をセットします。

```
CHGVAR      VAR(&RTN_ARCH) VALUE('Y')
```

WilComm アップグレード手順書

WilComm AS/400アップグレード作業

以下のシステム値について、設定を確認して下さい。

(システム値の変更は、他システムへの影響がないことをシステム管理者に確認してください。)

QALWOBJRST : 設定されている値を控えて、*ALLに設定します。 アップグレードが終わったら元に戻して下さい。

QVFYOBJRST : 設定されている値を控えて、1に設定します。 アップグレードが終わったら元に戻して下さい。

(このシステム値は、OS のバージョンによっては、存在しない場合があります。)

Step 1. WilCommの監視ジョブ（サブシステム）を停止します。

Step 2. WilComm環境のバックアップ

テープなどのメディアで、以下のライブラリーを保管して下さい。

WILPLEXCHG

WILPLEX

WILPLEXD

WILPLEXSPL

Step 3. WilComm関連のライブラリー名を以下のように変更して下さい。

WILPLEX → WILPLEX2

WILPLEXD → WILPLEXD2

WILPLEXSPL → WILPLEXSP2

ここまで作業が完了したら、端末をサインオフして下さい。

Step 4. WILCOMM400のCDをAS/400のCD-ROMドライブにセットして下さい。

Step 5. ユーザーQSECOFRでサインオンし、以下のコマンドを実行して下さい。

LODRUN *OPT

Step 6. 以下のコマンドを実行して下さい。

UPDWPX

Step 7. 動作確認を行い、問題が無ければ以下のライブラリーを削除します。

何か問題が発見された場合は、次ページの手順で元の環境に復元して下さい。

WILPLEX2

WILPLEXD2

WILPLEXSP2

何か問題があった場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

緊急の場合には、AS/400環境の復元を参照して、アップグレード前の状態に復元して下さい。

以上で、WilComm AS400のアップグレードは終わりです。

WilComm アップグレード手順書

<<注意！>>

WilCommのアップグレードを始める前に、すべてのWilComm処理が完了している事を確認して、WilComm関連プログラムをすべて終了して下さい。

アップグレードを行いますと、PCサーバー側のトランザクション・データはクリアされてしまいますので、もし処理中の帳票があった場合、アップグレード後に処理されません

現在、FAX機能を使用されている場合、MESSAGEmanager というFAX送信ソフトがサーバーにインストールされていますが、MESSAGEmanager につきましてはアップグレードの必要はございません
現在導入されている MESSAGEmanager をそのままお使い下さい。

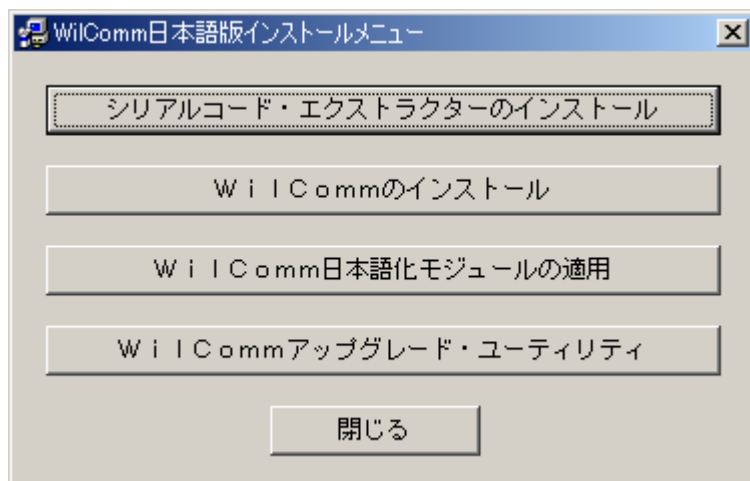
WilComm PCアップグレード作業

Step 1. WILCOMM400のCDをPCサーバーのCD-ROMドライブへセットして下さい。

すでにPCサーバーのライセンスキーをお持ちの場合は、Step3へ進んで下さい。

以下のようなメニュー画面が表示されます。

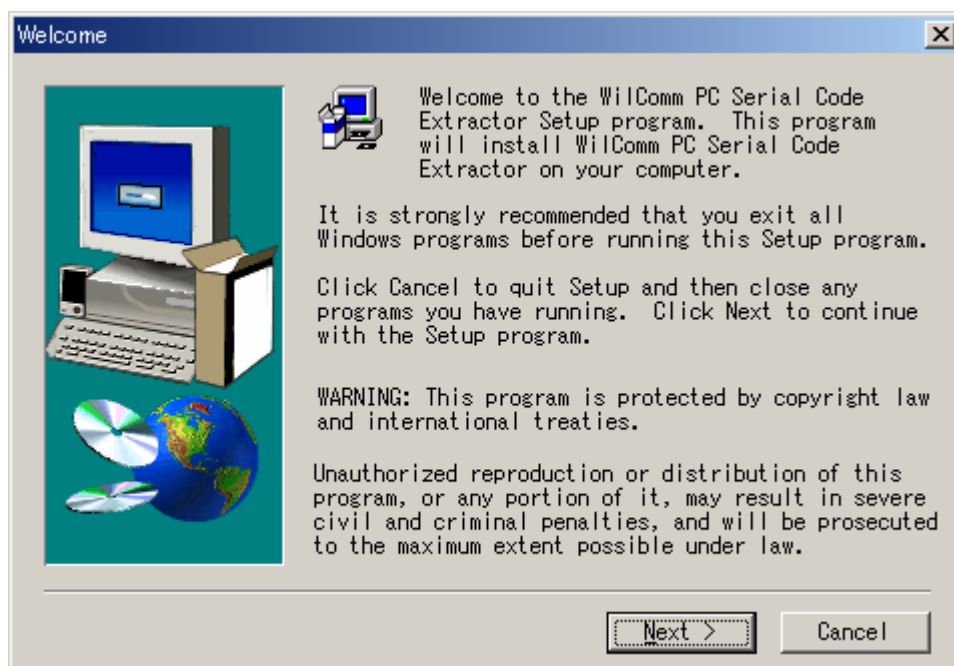
もし自動起動しない場合は、CD-ROMのWilMenu.exeを実行して下さい。



Step 2. シリアルコード・エクストラクターのインストールを実行します。

すでにライセンスキーが必要なバージョンをお使いの場合、この作業は必要ありません

WilComm アップグレード手順書

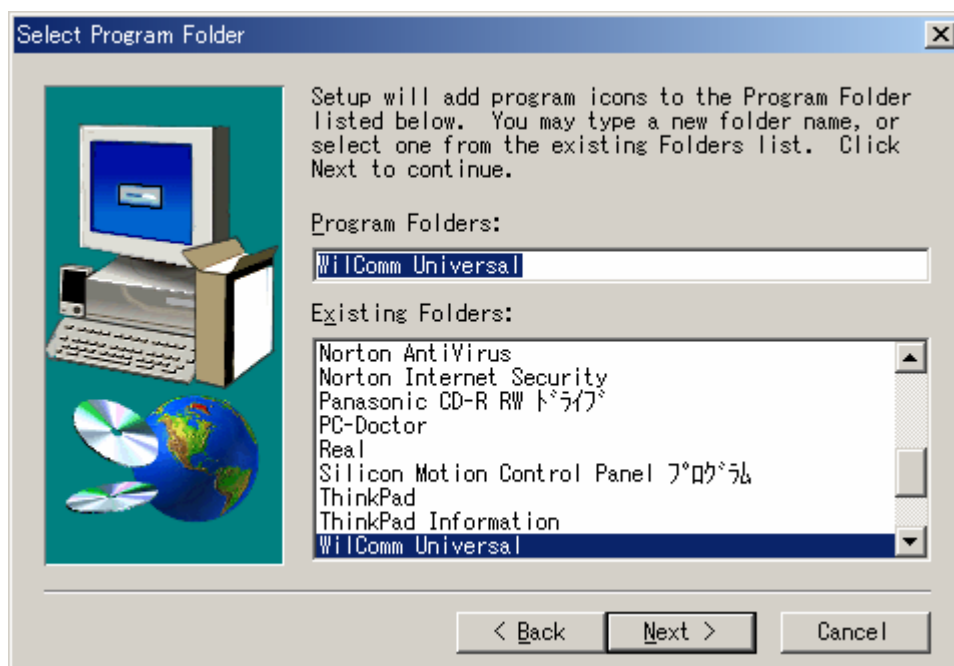


[Next >] ボタンを押します。



[Next >] ボタンを押します。
インストール先を変更する場合は、[Browse...]ボタンを押して変更して下さい。

WilComm アップグレード手順書



[Next >] ボタンを押します。



[Finish] ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書



[終了] ボタンを押します。

[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[WilComm Serial Code Extractor]を実行します。

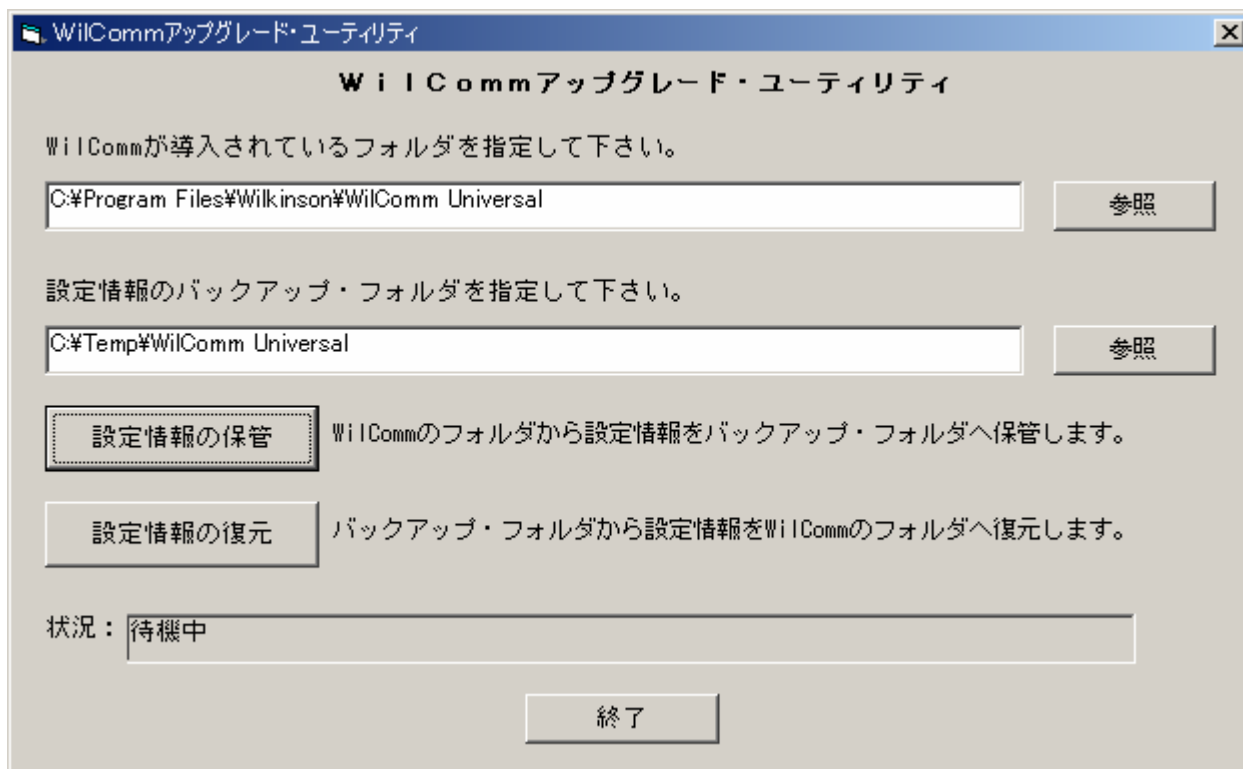


画面に表示されたシリアルコードを販売店に連絡してライセンスキーを取得して下さい。
ライセンスキーの発行には、最短で2営業日ほどかかります。

[ファイルに保存(S)]を押すと、シリアルコードの内容をテキストファイルに保存することができます。

WilComm アップグレード手順書

- Step 3. **アップグレード後、不具合が発生した場合に備えて、WilComm がインストールされているフォルダー全体 (WilComm Universal) をバックアップします。**
バックアップはテープ等の媒体へ保管して頂くか、ネットワーク上の他の PC、あるいは、PC サーバー内の任意のフォルダへ WilComm Universal フォルダをコピーして下さい。
- Step 4. **上記 Step 3 を実行した後、WilComm アップグレード・ユーティリティを実行します。**
この処理では、WilComm 全てではなく、設定ファイル等の一部のファイルが保管されます。



WilComm が導入されているフォルダ (WilComm Universal) を指定します。
デフォルトで導入した場合のフォルダが、初期値として画面に表示されています。
デフォルト以外の場所へ導入している場合は、右側の[参照]ボタンを押して導入先のフォルダを指定します。

現在使用している WilComm に設定された情報 (フォーム、設定ファイル) をバックアップするフォルダを指定します。
デフォルトとして指定されている場所以外に保管したい場合には、右側の[参照]ボタンを押してバックアップ先のフォルダを指定します。
もし指定したフォルダが存在しない場合、自動的に作成されます。

[設定情報の保管]ボタンを押します。



[OK]ボタンを押します。
[終了]ボタンを押して、WilComm アップグレード・ユーティリティを終了します。

WilComm アップグレード手順書

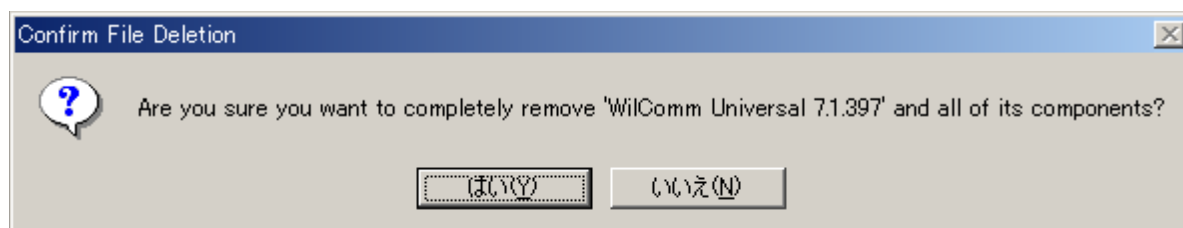
Step 5. 現在使用している WilComm をアンインストールします。

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を開きます。

[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

一覧で表示された中から [WilComm Universal X.X.XXX] を選択します。
X.X.XXX の部分はバージョン番号が入ります。

[追加と削除] ボタンを押します。



[はい] ボタンを押します。

アンインストールが終了したら、CD-ROMを取り出してPCサーバーを再起動します。

WilComm アップグレード手順書

Step 6. PCサーバーが再起動しましたら以下の手順で MESSAGEmanager のサービスを停止します。
FAX機能を使用していない場合、Step 7 へ進んで下さい。

MESSAGEmanager の画面を表示させます。

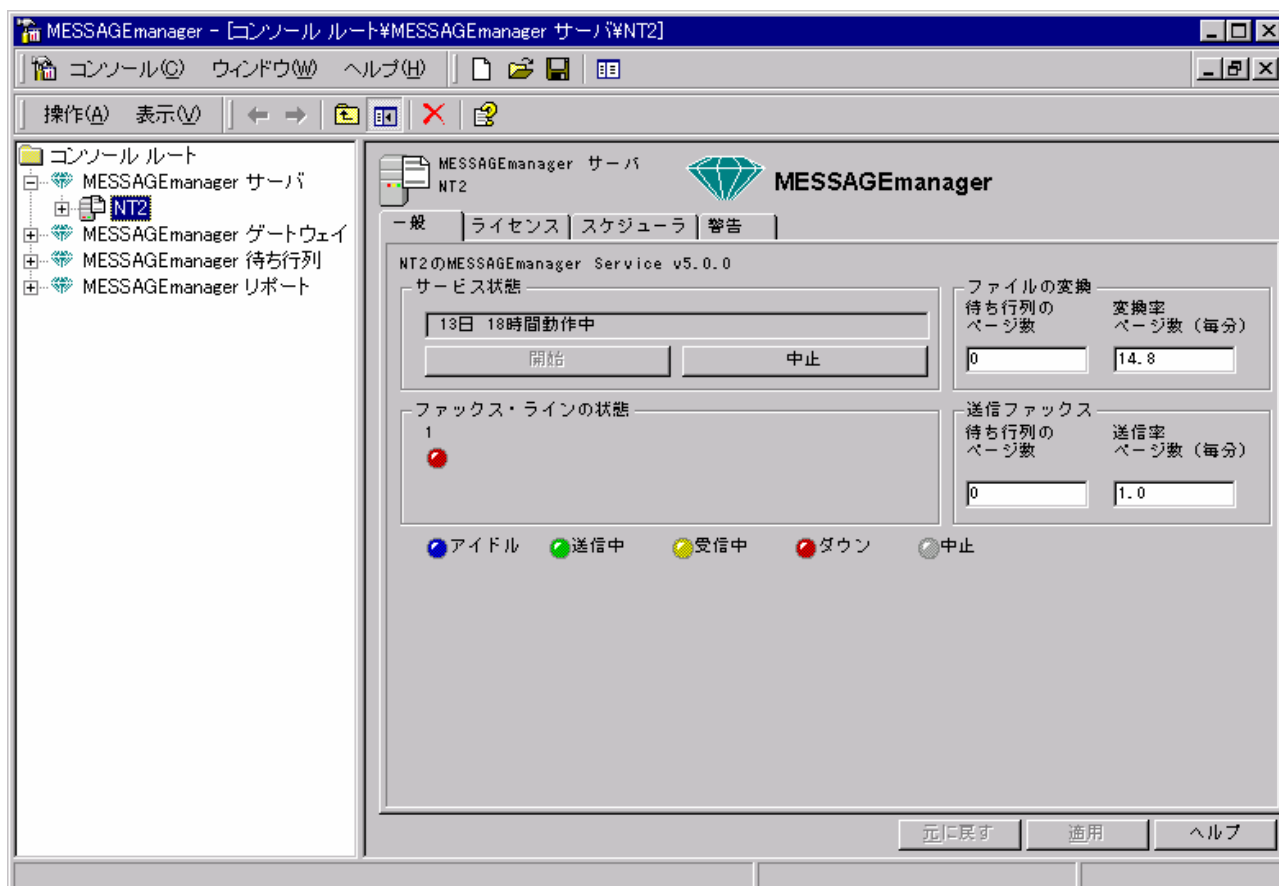
Windows NT 4.0 の場合

[スタート]-[プログラム]-[MESSAGEmanager]-[MESSAGEmanager]あるいは、

[スタート]-[プログラム]-[MESSAGEmanager]-[Management Tools (MMC)]

Windows2000 の場合

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[管理ツール]-[MESSAGEmanager]

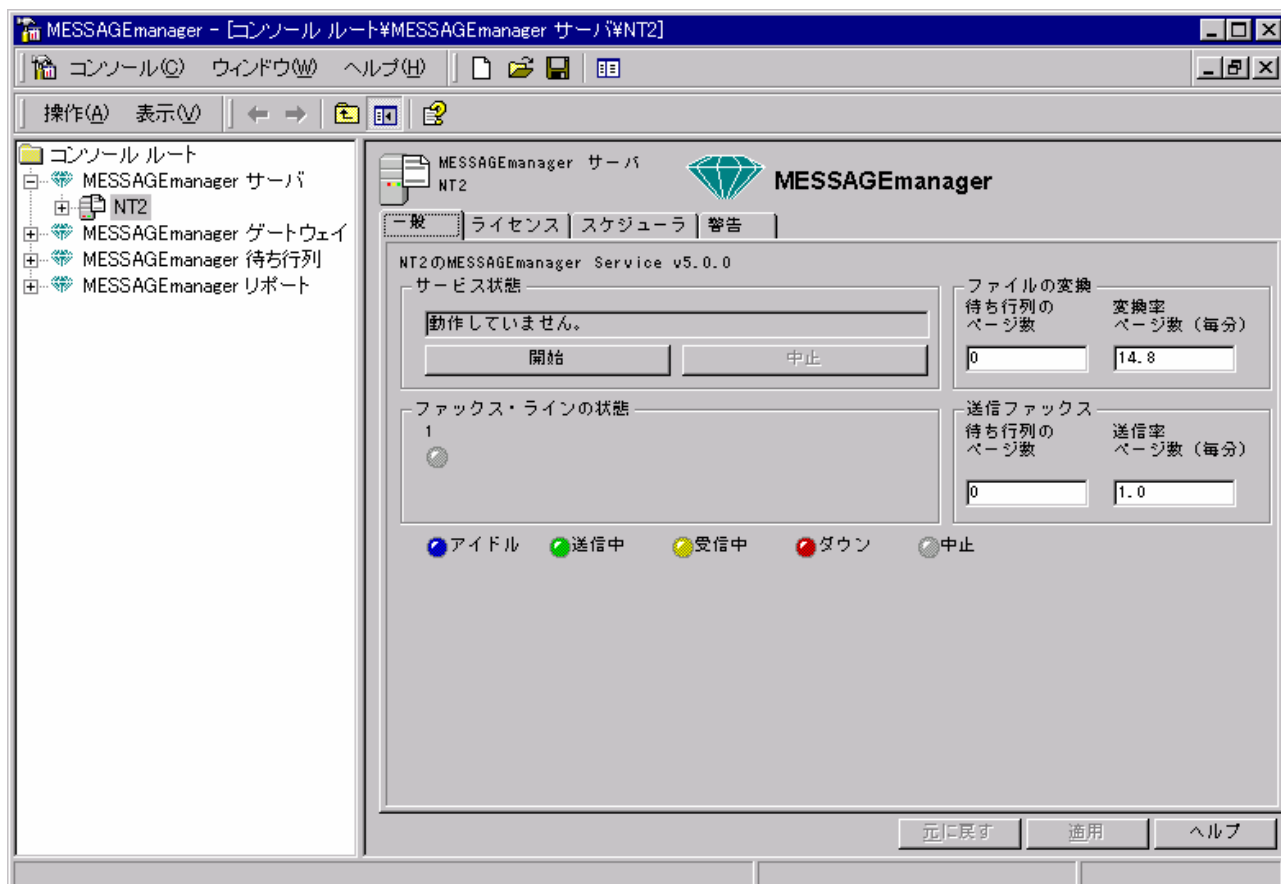


[中止]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書



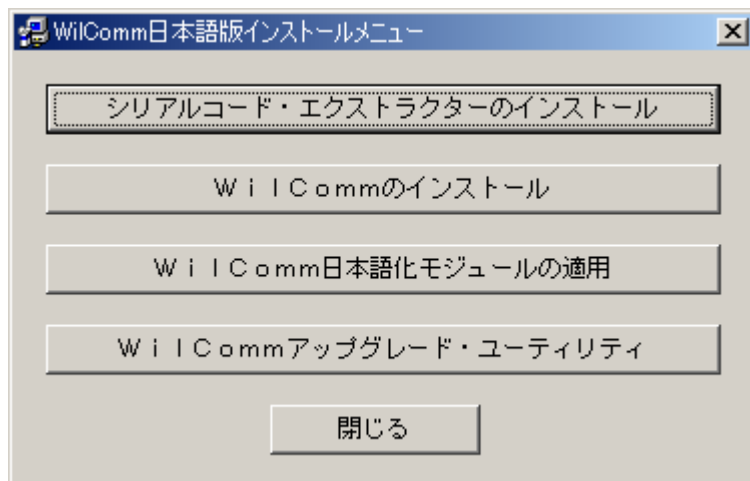
[はい]ボタンを押します。



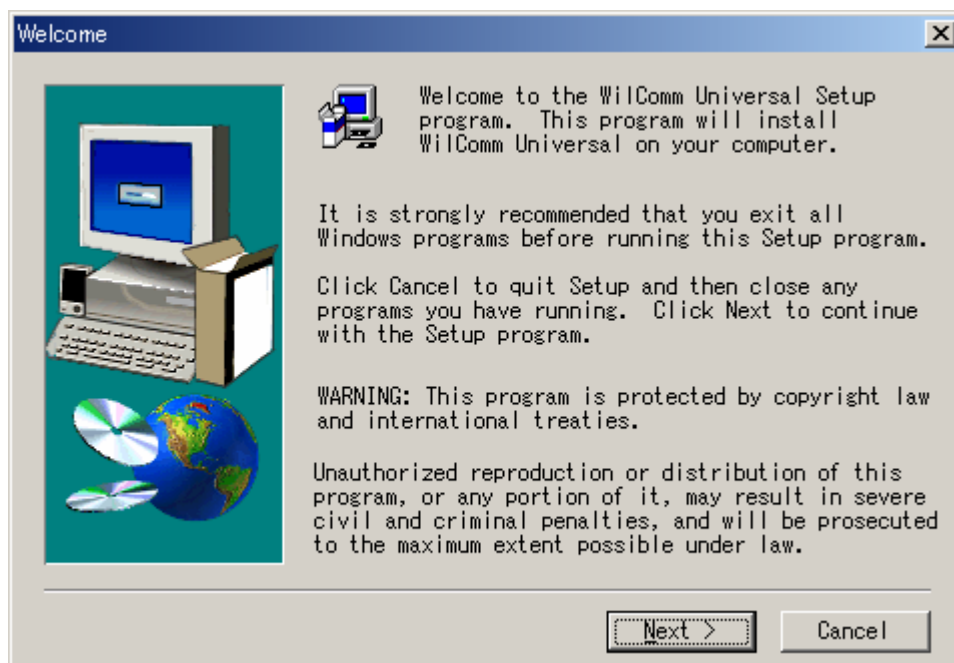
サービスの状態が「動作していません。」となりましたら画面を閉じます。

WilComm アップグレード手順書

- Step 7. WilComm Server のラベルが付いた CD-ROM を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
以下のようなメニュー画面が表示されます。
もし自動起動しない場合は、CD-ROM の WilMenu.exe を実行して下さい。

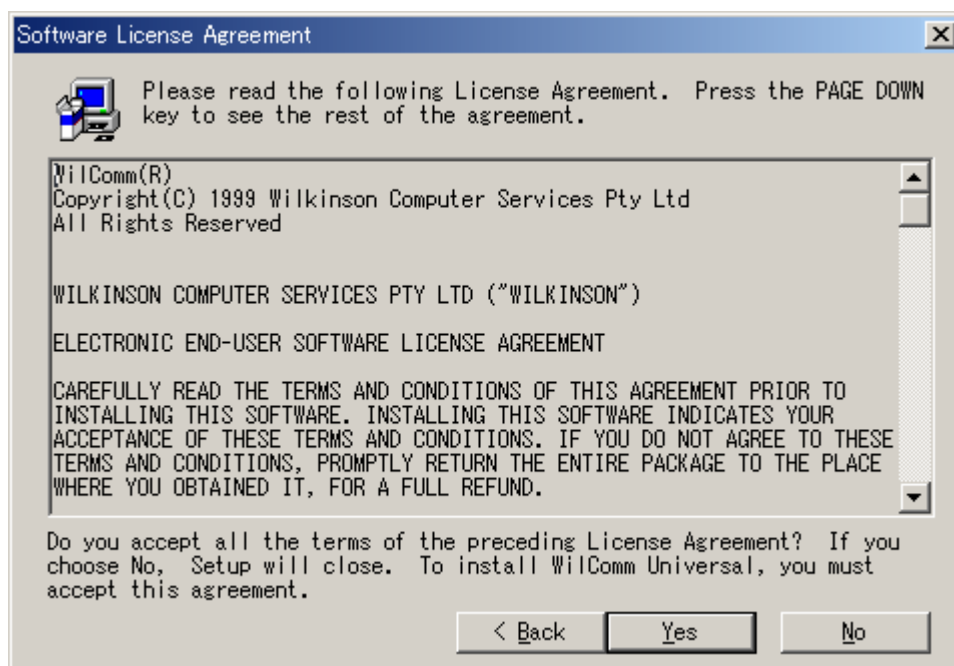


- Step 8. WilComm のインストールを実行します。

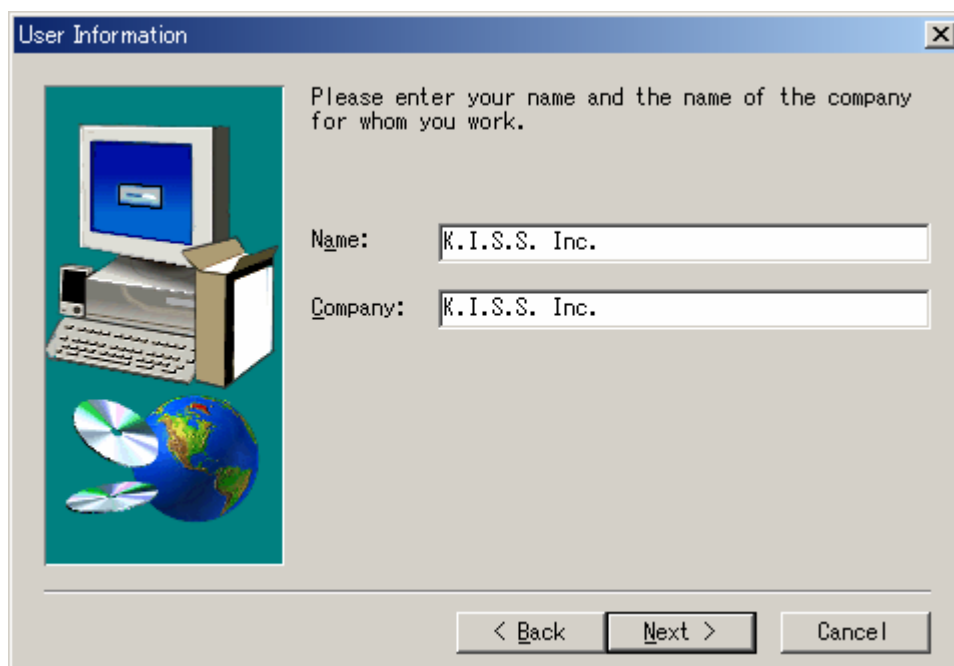


[Next >] ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書

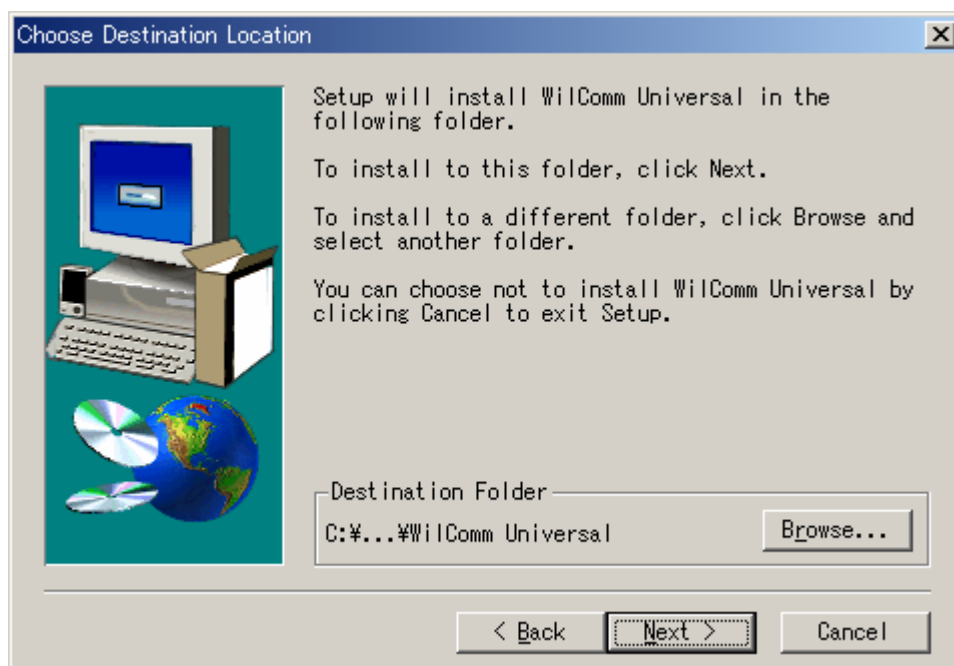


[Yes]ボタンを押します。

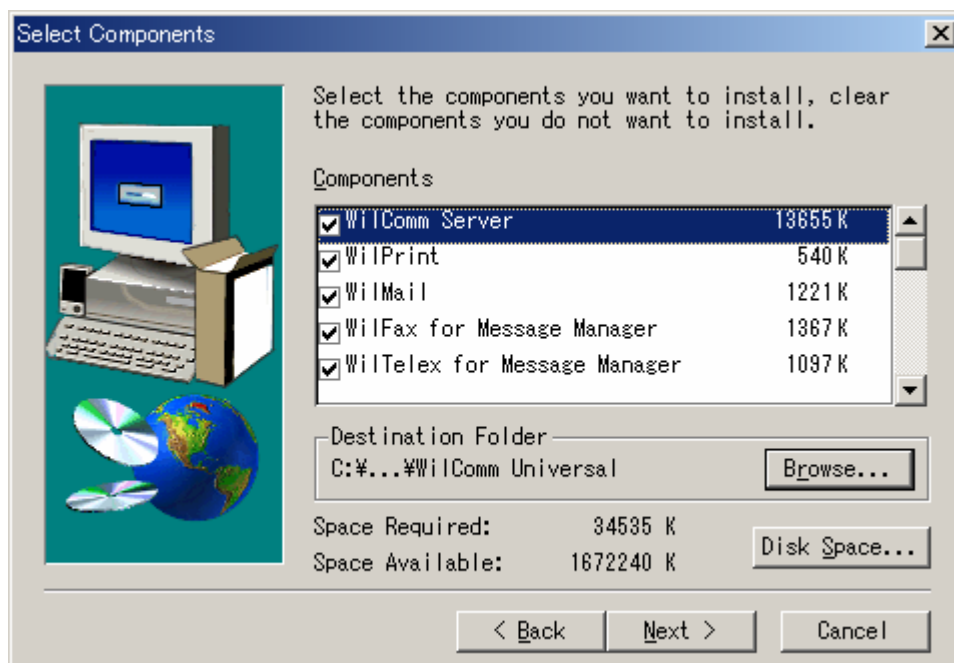


[Name]と[Company]の項目を入力し、[Next >]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書



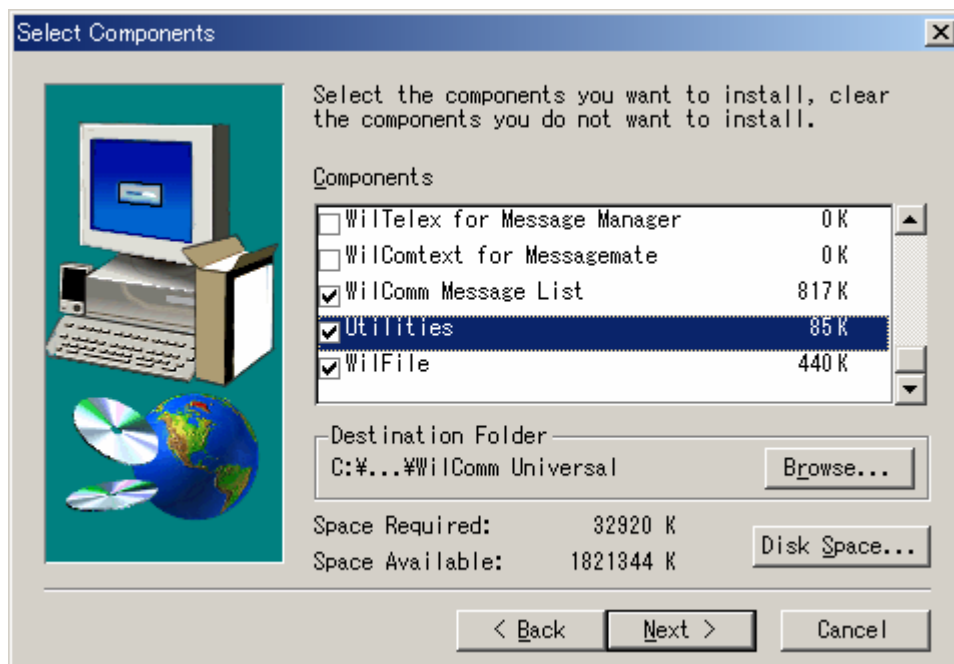
[Next >]ボタンを押します。
インストール先を変更する場合は、[Browse...]ボタンを押して変更して下さい。



導入するモジュールを選択します。
各機能の内容につきましては次ページの**機能の説明**を参照して下さい。

右側のスライダーをマウスでつまんで下げます。

WilComm アップグレード手順書



WilTelex for Message Manager と WilComtext for Message Manager のチェックボックスに付いている印をはずします。(日本では使用できない機能です。)

WilComm Message List と Utilities のチェックボックスに印を付けます。

[Next >] ボタンを押します。

機能の説明

WilComm Server : AS/400 の WilComm とデータの受け渡しを行う機能です。

Distribution Wizard, Field Mapper, WilComm Config 等の機能もこのオプションを選択するとインストールされます。

WilPrint : スプールデータをプリンターで印刷する機能です。

WilMail : スプールデータをメールで送信する機能です。

WilFax for MESSAGE Manager : スプールデータを F A X で送信する機能です。

WilTelex for MESSAGE Manager : 日本では使用できません

WilComtext for Message Manager : 日本では使用できません

WilComm Message List : P C 側で送信結果を参照するための機能です。

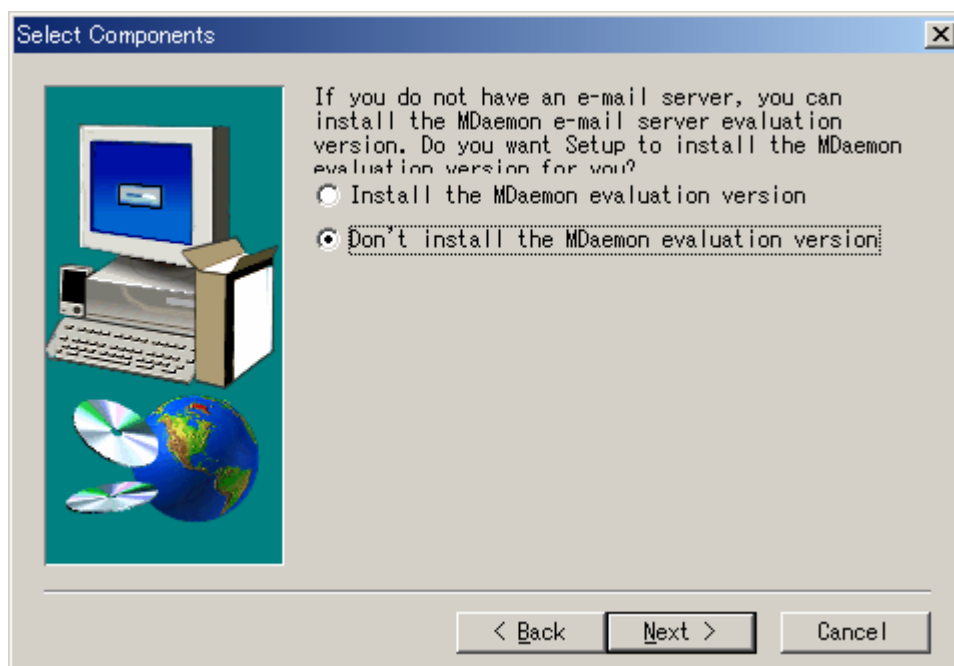
Utilities : 障害発生時に使用するツールが含まれています。

WilFile : スプールデータをディスクに保管する機能です。

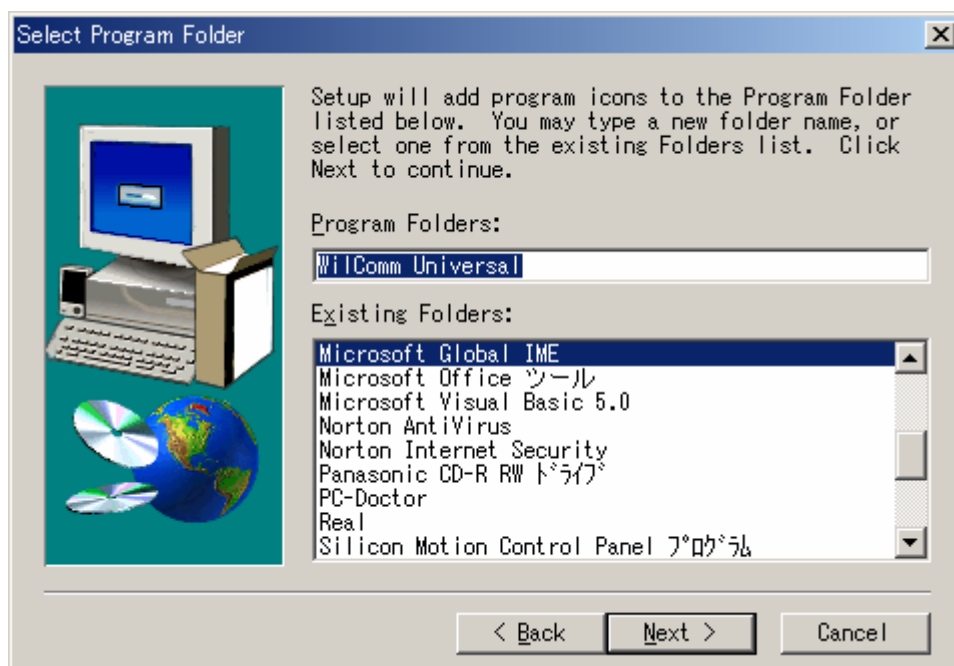
使用するためには、WilMail のライセンスが必要になります。

※ライセンスをお持ちでない機能をインストールされましても使用できません

WilComm アップグレード手順書

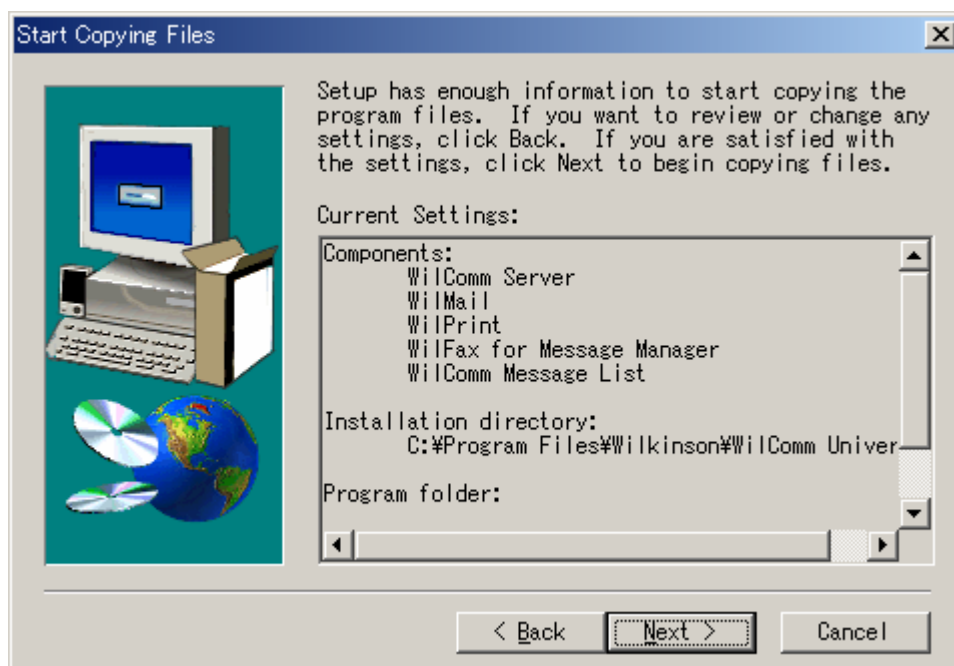


メール機能の導入を選択した場合にのみ表示されます。
ここでは、簡易メールサーバー(試用版)を導入するか否かを選択します。
通常は、デフォルトのまま[Next >]ボタンを押します。

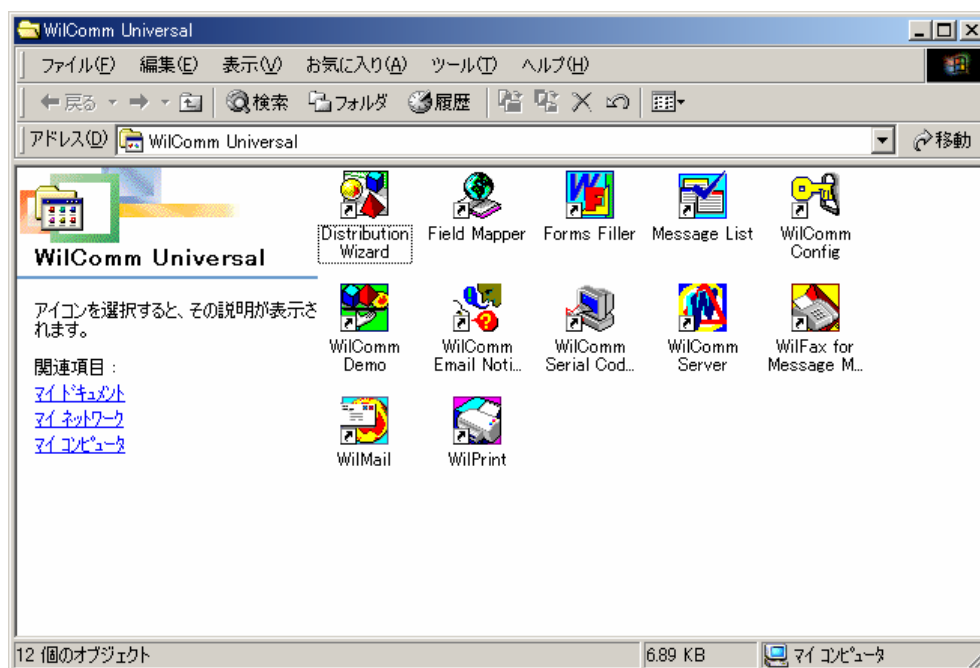


[Next >]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書



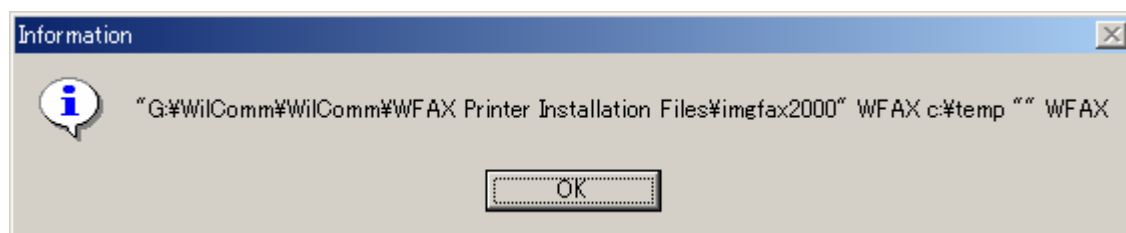
[Next >]ボタンを押します。



上記のような画面が表示されます。
(表示されているショートカットは、導入するモジュールによって異なります。)

この画面が最前面に表示されて、後ろの画面が隠れてしまう場合があります。
その場合は、この画面を閉じて下さい。

WilComm アップグレード手順書



F A X機能の導入を選択した場合にのみ表示されます。
[OK]ボタンを押します。

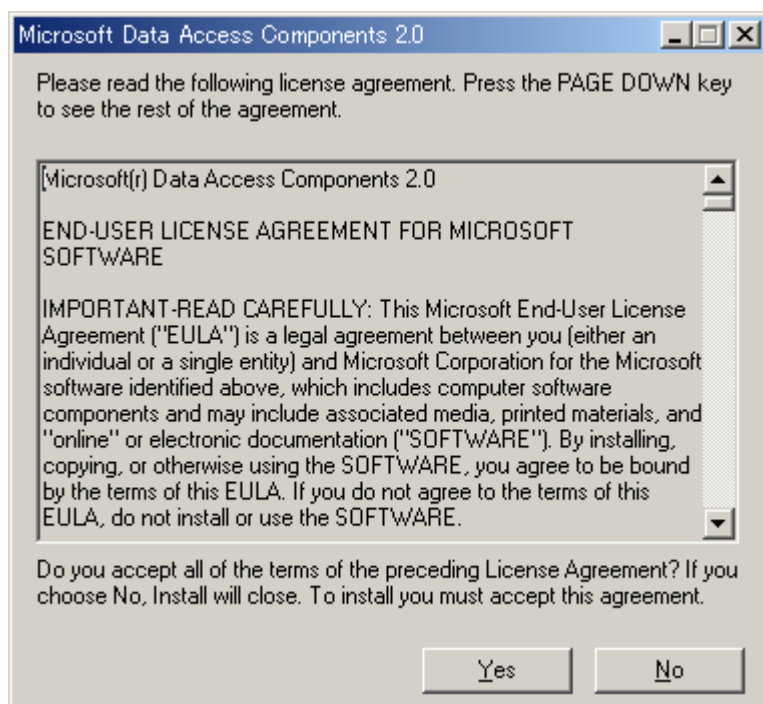


F A X機能の導入を選択した場合にのみ表示されます。
[OK]ボタンを押します。

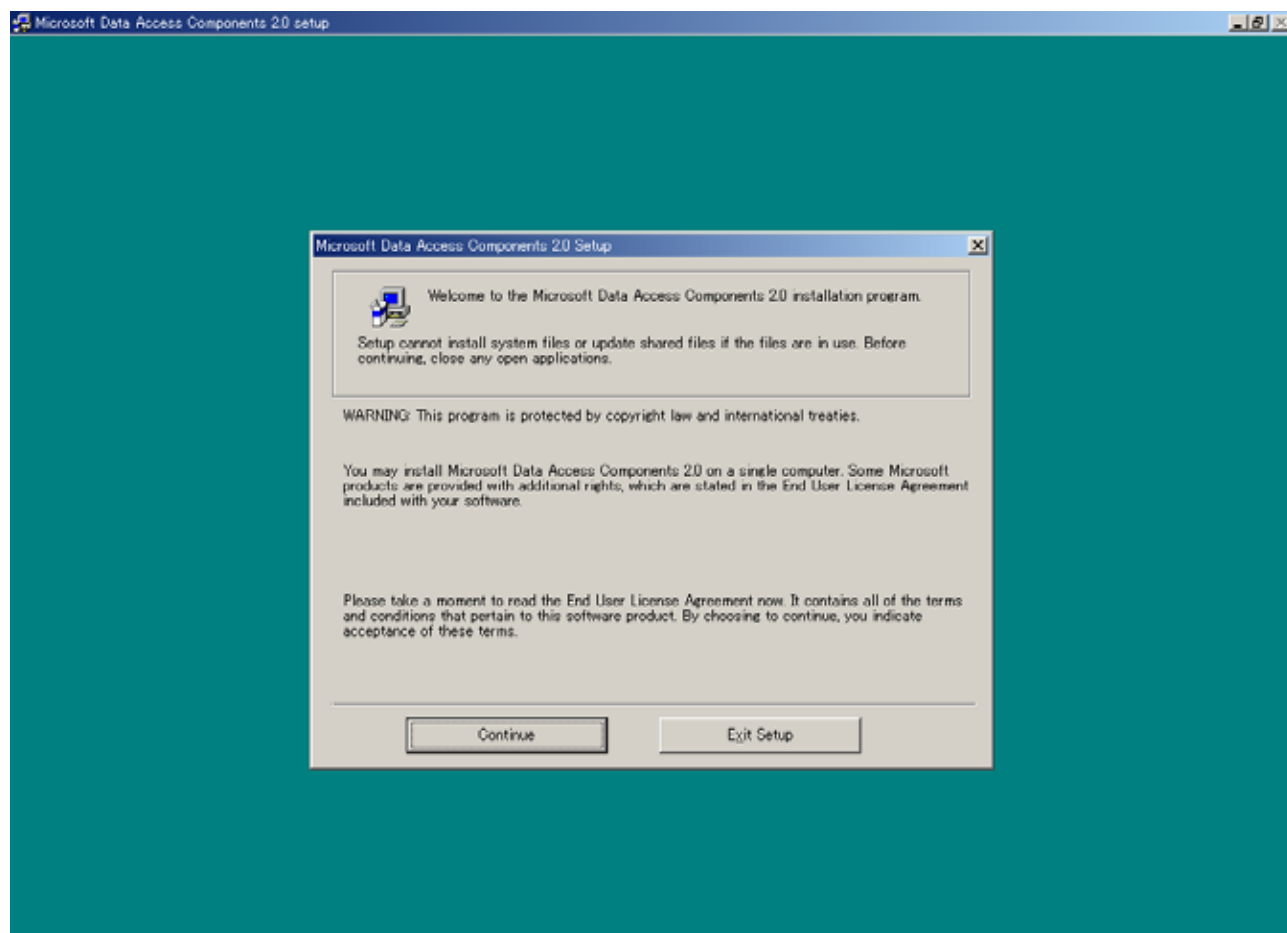


まれに、上のような画面が表示される場合があります。
WindowsNT ではインストールの必要がありませんので、[いいえ(N)]を押します。

WilComm アップグレード手順書

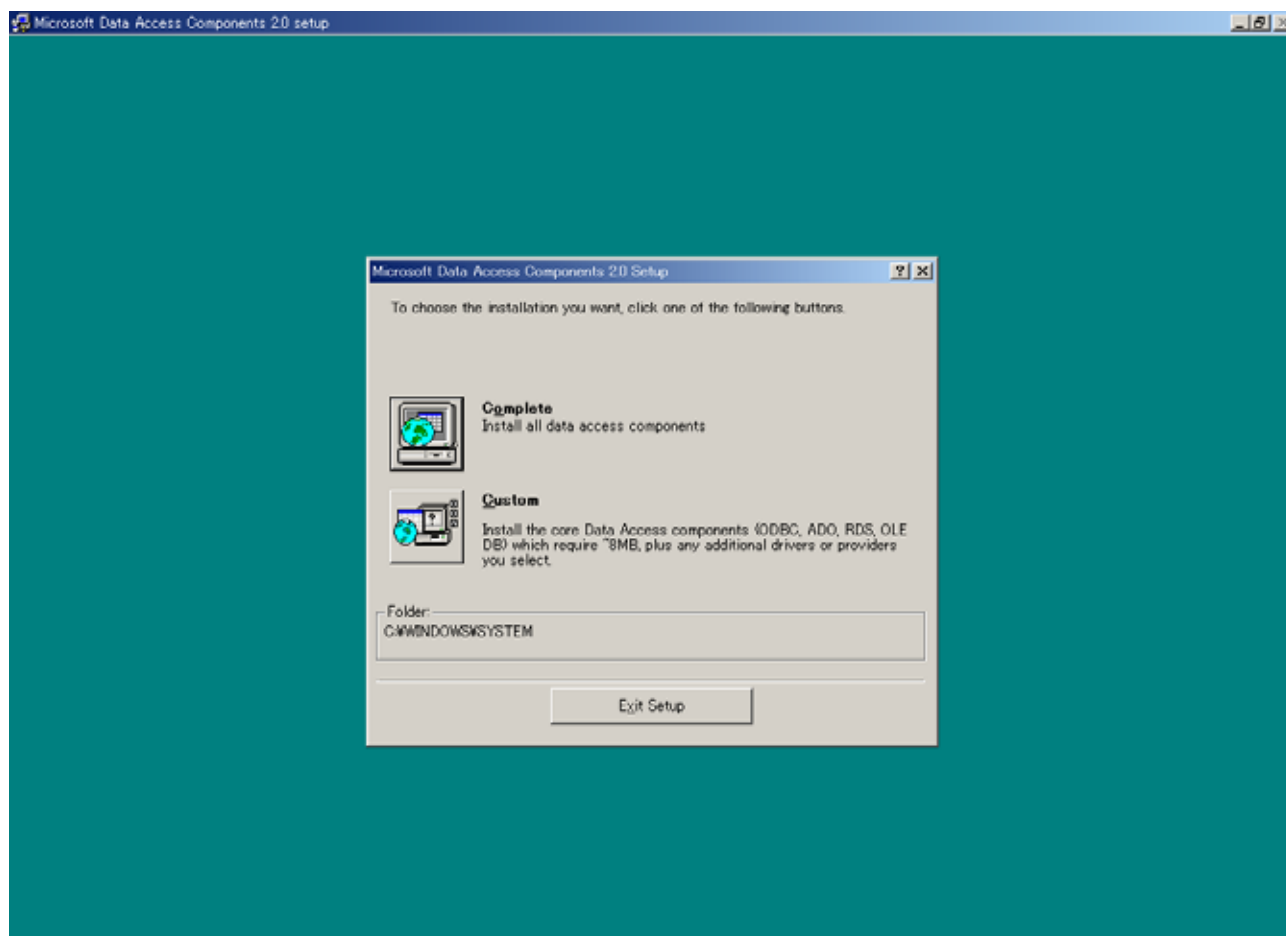


[Yes]ボタンを押します。



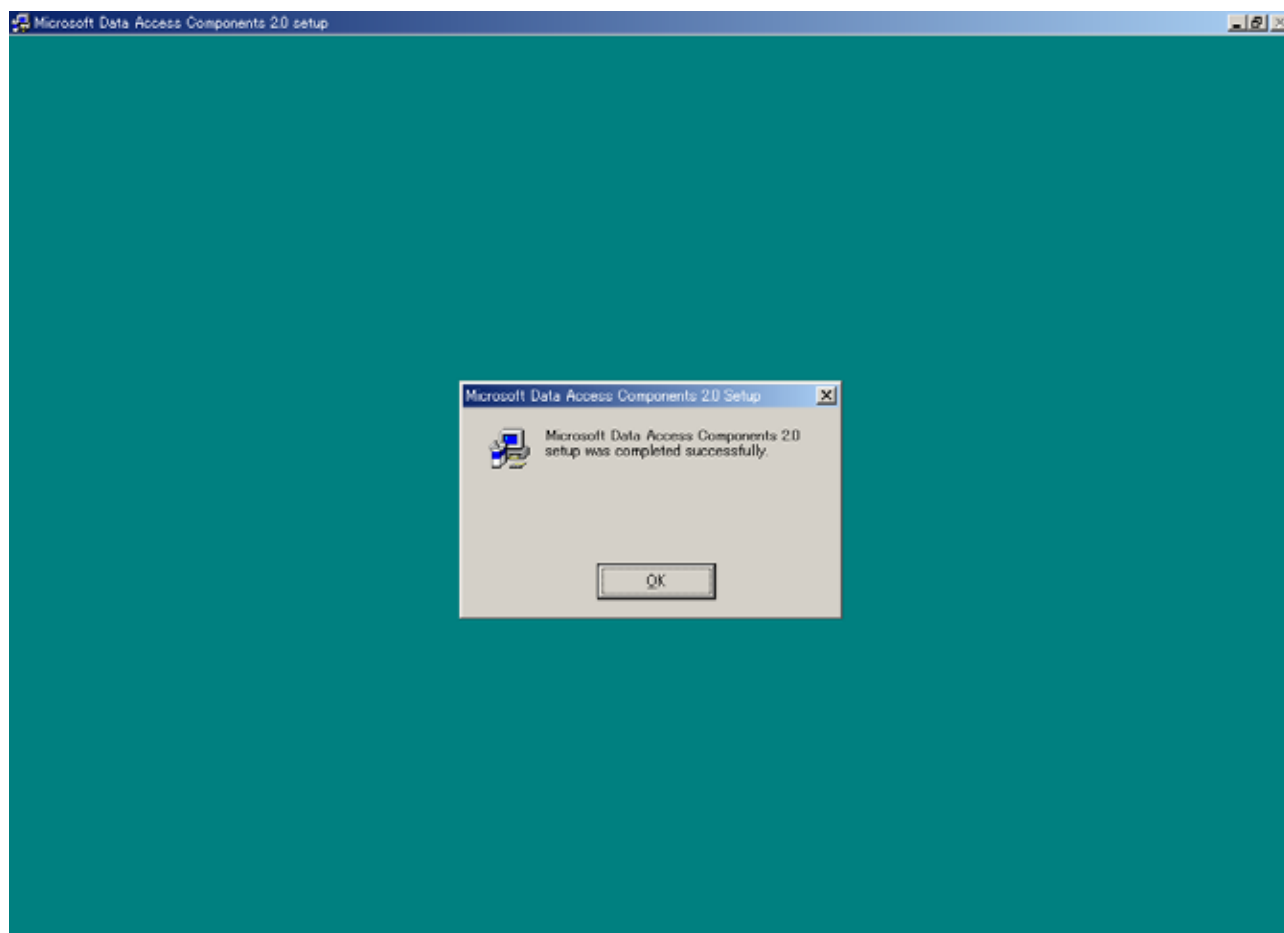
[Continue]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書



[Complete]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書



[OK]ボタンを押します。

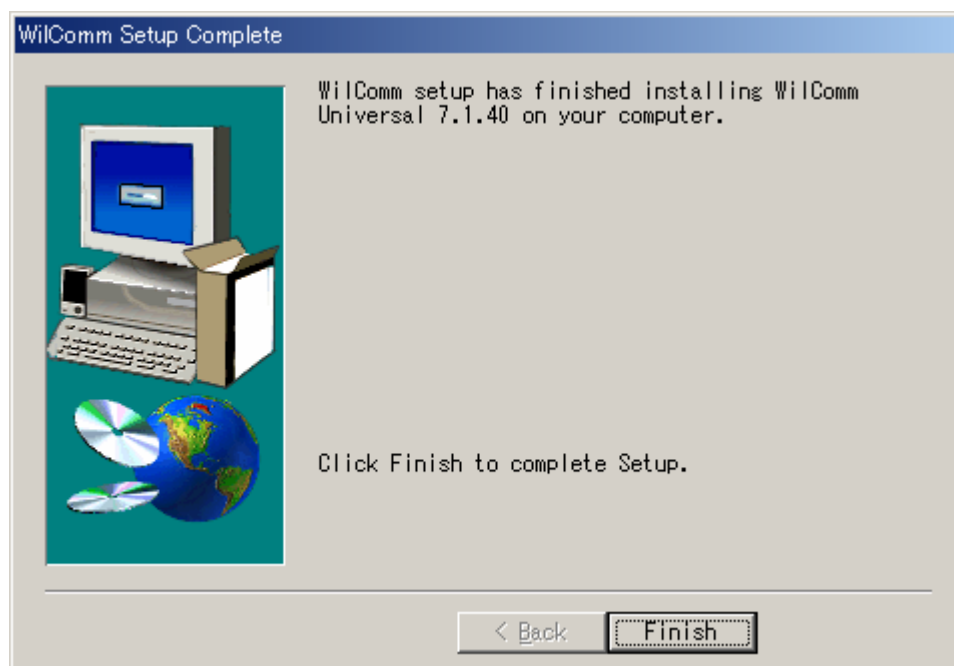


メール機能を導入する場合、サーバーに Adobe Acrobat がインストールされていないと表示されます。

[いいえ(Y)]ボタンを押します。

※メール機能でフォームを使用する場合は、Adobe Acrobat 製品版が必要となります。
この時点で未導入の場合、WilComm インストール後にインストールして下さい。

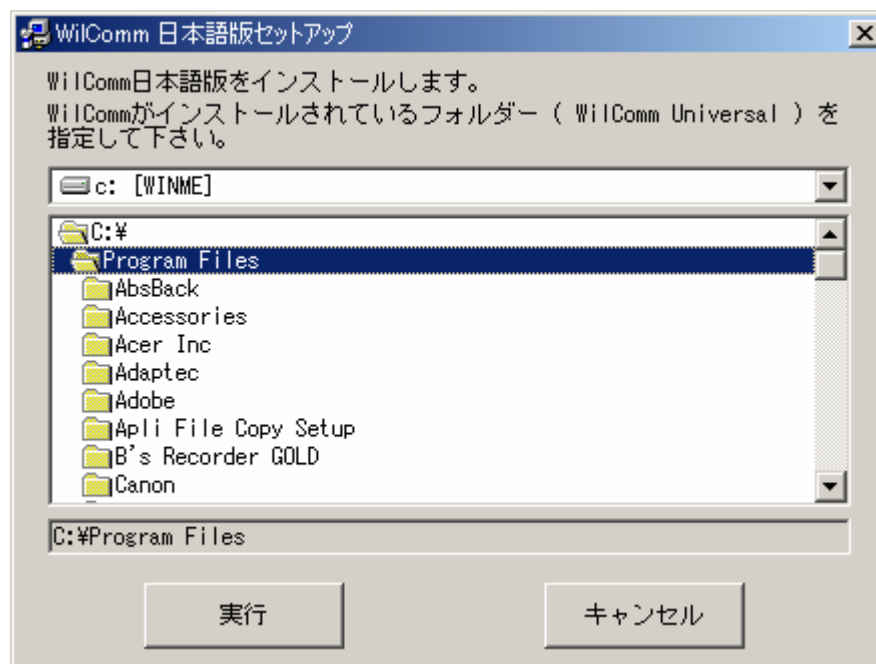
WilComm アップグレード手順書



[Finish]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書

Step 9. WilComm日本語化モジュールの適用を実行します。
英語版で使用されている場合は、実行しないで下さい。



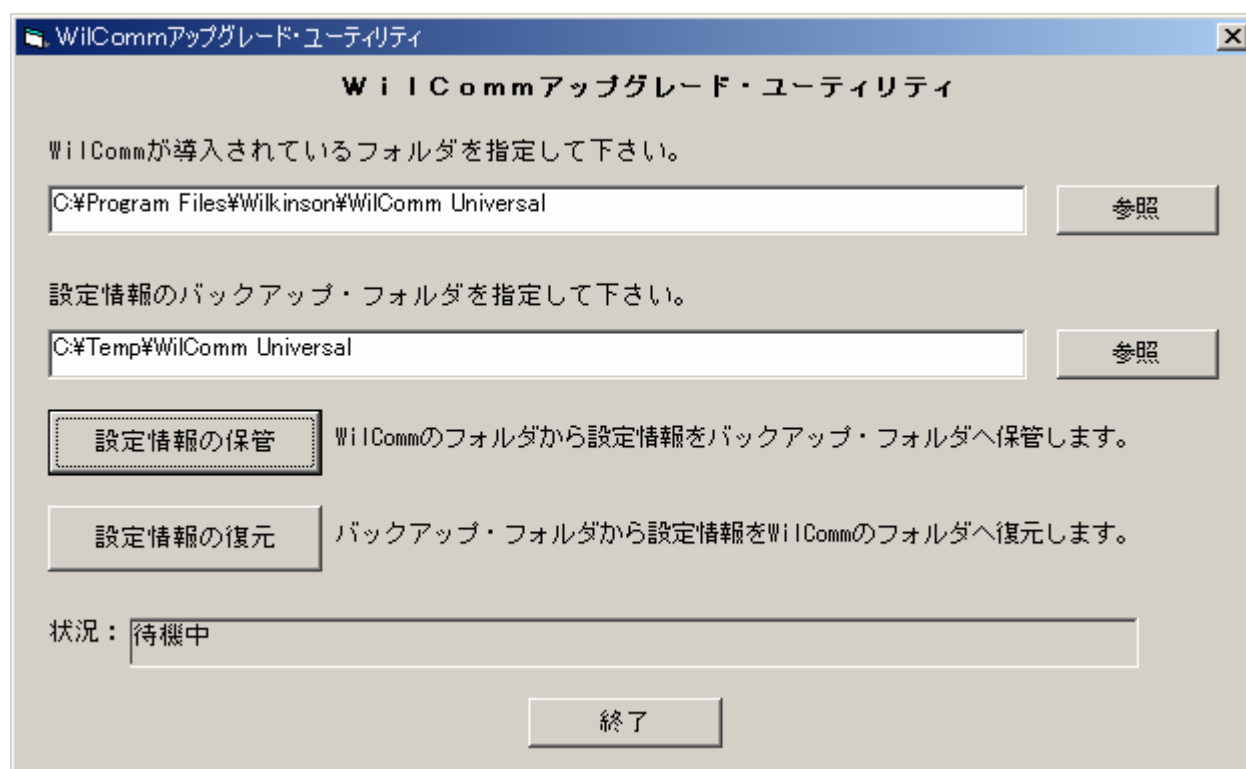
WilCommを導入したWilComm Universal フォルダーを指定します。
デフォルトでインストールした場合、C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal です。



[OK]ボタンを押します。

WilComm アップグレード手順書

Step10. W i l C o m mアップグレード・ユーティリティを実行します。



WilCommを導入したフォルダ (WilComm Universal) を指定します。
デフォルトで導入した場合のフォルダが、初期値として画面に表示されています。
デフォルト以外の場所へ導入した場合は、右側の[参照]ボタンを押して導入先のフォルダを指定します。

Step 4でWilCommの設定情報 (フォーム、設定ファイル) をバックアップしたフォルダを指定します。
デフォルトとして指定されている場所以外に保管した場合には、右側の[参照]ボタンを押してバックアップ先のフォルダを指定します。

[**設定情報の復元**]ボタンを押します。



[OK]ボタンを押します。

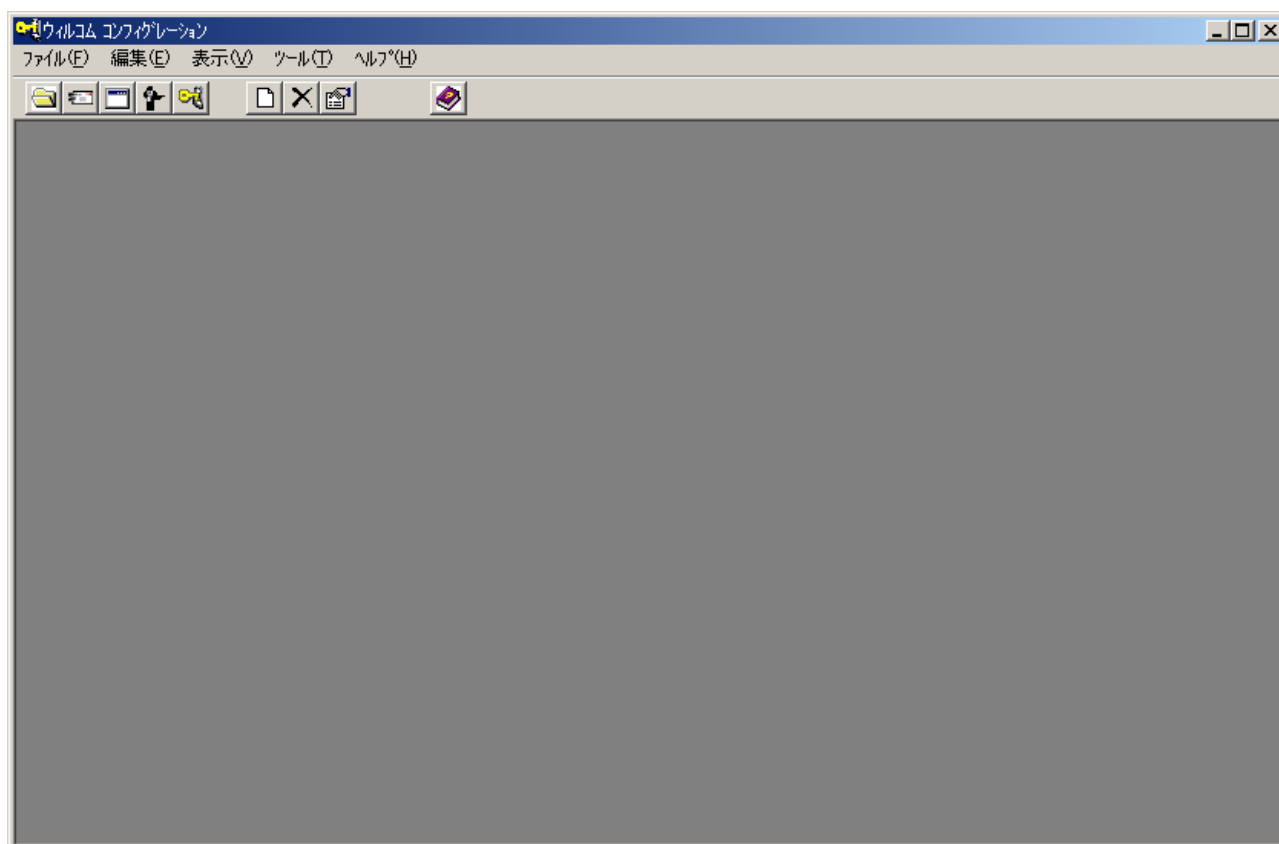
[終了]ボタンを押して、W i l C o m mアップグレード・ユーティリティを終了します。

Step11. P Cサーバーを再起動して下さい。

WilComm アップグレード手順書

Step12. ライセンスキーの入力

すでにライセンスキーが必要なバージョンをお使いの場合、この作業は必要ありません
[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[WilComm Config]を起動します。



[表示]-[AuthorizationCode]を実行します。

WilComm アップグレード手順書

ウィルコムPCシリアルコードは、このマシンのユニークなIDです。Wilkinson Computer Services Pty. Ltd.よりウィルコムのライセンス購入時、このシリアルコードをお渡しします。

コードを打ち込む煩わしさを解消するため、[コピー]ボタンによりエディターへの貼り付けができます。または[ファイルに保存]ボタンによりシリアルコードをディスクファイルの保存することができます。

PC シリアル コード: -- -- --

ウィルコムのライセンスをご購入されますと、ライセンスを証明します権限コードが発行されます。以下のフィールドに権限コードを入力して下さい。

権限コード: -- -- -- -- --

失効日: Label1

バックアップグループ数:

プリンター数:

ウィルプリント サービス プログラム数:

ウィルファックス サービス プログラム数:

ウィルメール サービス プログラム数:

ウィルテレックス サービス プログラム数:

ウィルコムテキスト サービス プログラム数:

[権限コード]欄にライセンスキーを入力して、OK ボタンを押します。
入力が終わったら、WilComm Config を終了して下さい。

Step 4 で作成したバックアップ・フォルダは、新しいバージョンで動作に問題が無いことが確認されましたら削除して下さい。

何か問題があった場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

緊急の場合には、PCサーバー環境の復元を参照して、アップグレード前の状態に復元して下さい。

以上でWilComm PCのアップグレードは終わりです。

WilComm アップグレード手順書

トラブル発生時の対応

アップグレードした後、動作確認を行っている時点で問題が発生した場合には、以下の手順で環境をアップグレード前の状態に戻すことができます。

AS/400環境の復元

テープのバックアップが有る場合：

1. 下記のライブラリーを削除します。

WILPLEXCHG
WILPLEX
WILPLEXD
WILPLEXSPL
WILPLEX2
WILPLEXD2
WILPLEXSP2

2. バックアップ・テープから下記のライブラリーを復元します。

WILPLEXCHG
WILPLEX
WILPLEXD
WILPLEXSPL

テープのバックアップが無い場合：

1. 下記のライブラリーを削除します。

WILPLEX
WILPLEXD
WILPLEXSPL

2. 下記のライブラリーの名前を変更します。

WILPLEX2 → WILPLEX
WILPLEXD2 → WILPLEXD
WILPLEXSP2 → WILPLEXSPL

3. ライブラリーWILPLEXCHGのファイルWPXMSGの名前をWILPLEXMSGに変更します。

WilComm アップグレード手順書

PCサーバー環境の復元

バックアップが有る場合：

導入されている WilComm をアンインストールします。

以前に導入した際に使用した WilComm Server の CD-ROM からインストールを行います。

バックアップした WilComm Universal フォルダを WilComm を導入した WilComm Universal フォルダへ
上書きコピーして下さい。

バックアップが無い場合：

導入されている WilComm をアンインストールします。

以前に導入した際に使用した WilComm Server の CD-ROM からインストールを行います。

Step 4 で保管したバックアップ・フォルダから WilComm を導入した WilComm Universal フォルダへ
ファイルを個別に上書きコピーして下さい。